

G7気候・エネルギー・環境大臣会合の結果報告（循環分野）

**循環型社会部会
6月5日**

G7気候・エネルギー・環境大臣会合の結果概要



● **日程**：2023年4月15日・16日 **場所**：札幌市

● **参加国**：G7（議長国：日本）

※招待国：インド（G20議長国）、インドネシア(ASEAN議長国)、UAE（COP28議長国）

※招待機関：UNFCCC、OECD、IEA、IRENA、ERIA、IUCN、WBCSD

● **日本出席者**：西村経済産業大臣、西村環境大臣、
山田環境副大臣、国定環境大臣政務官



● 概要：

- 経済成長とエネルギー安全保障を確保しながら、ネットゼロ、循環経済、ネイチャーポジティブ経済の統合的な実現に向けたグリーントランスフォーメーションの重要性を共有。
- 全ての部門・全ての主体の行動の必要性を確認。
- バリューチェーン全体の変革と、これに向けた情報開示等の企業の取組の重要性を共有。
- 政府による率先行動。非政府主体（都市・地方自治体）の行動を推進・支援。
- 2040年までに追加的なプラスチック汚染をゼロにする野心に合意(大阪ブルー・オーシャン・ビジョンの2050年からの10年前倒し)
- NDC及び長期戦略が1.5℃目標、2050年ネットゼロと整合していない国（特に主要経済国）に対し、排出削減目標の強化、2050年ネットゼロを呼びかけ。全ての分野、温室効果ガスを対象にすることを要請。
- 締約国に対し、2025年までの世界全体排出量のピークアウト等へのコミットの呼びかけ。
- 各国の事情に応じた多様な道筋を認識しつつ、それらがネットゼロという共通目標に繋がることを強調。
- 安全性、エネルギー安全保障、経済効率性及び環境（S+3E）を同時に実現することの重要性を再確認
- エネルギー安全保障、気候危機、地政学的リスクに一体として取り組むことにコミット。
- 排出削減と経済成長の両立を実現するシステム変革の重要性を強調。
- 産業の脱炭素化の重要性の再確認と具体的行動の共有。

採択されたコミュニケ、附属文書は下記ウェブサイトからダウンロード可能。
https://www.env.go.jp/earth/g7/2023_sapporo_emm/index.html

大臣会合の循環経済分野の結果概要



循環経済分野において主に下記の合意が得られた。

■ 重要鉱物等の国内・国際の回収リサイクルの強化

電子電気機器等からの重要鉱物等の国内・国際の回収リサイクルを増加することに合意。また、途上国のリサイクルのための環境規制の枠組みや能力開発の強化を含む環境整備を促進しつつ、円滑で環境的に優れ効率的な国際的な回収・リサイクルを確保するための議論を促進。

※G7サミットにおいて、当該合意を元に、重要鉱物等の国内・国際回収リサイクルの強化が合意された。

■ 「循環経済及び資源効率性の原則」を採択

民間企業の循環経済及び資源効率性に関する行動指針を策定。今後G7-B7連携により普及を促進。

※G7サミットにおいて、当該原則が支持（endorse）された。

■ 廃棄物分野の脱炭素化に向けた努力の強化

一次資源利用削減及び廃棄物の最小化を確認しつつ、廃棄物分野の脱炭素化に向けた努力を強化。

■ バリューチェーンにおける循環性の測定、情報の共有・活用の重要性・議論の促進

バリューチェーンにおける循環性の測定、情報の流通・活用の促進の重要性に合意し、G7資源効率性アライアンスを通じた協力により、バリューチェーンの循環性の測定、情報の共有・活用及び比較可能な指標に関する議論と調整を促進。

■ 国際協力の強化

循環経済や廃棄物管理に関する国際協力を進めるとともに、国際金融機関（MDBs）等における関連プロジェクトにおける循環経済アプローチの統合を求める。

循環経済及び資源効率性原則（CEREP）の概要

循環経済及び資源効率性に関する民間企業の行動を促進するための行動指針

策定の経緯

- 2021年のG7気候・環境大臣会合において「循環経済及び資源効率性原則(Circular Economy and Resource Efficiency Principles, CEREP)」の作成を日本が提案し合意
- 2022年のG7気候・エネルギー・環境大臣会合において「ベルリン・ロードマップ」が採択され、**CEREPの策定を再確認**
- これらを踏まえ、議長国として日本がG7資源効率性アライアンスにおけるCEREPの策定・交渉をリードし、2023年4月のG7気候・エネルギー・環境大臣会合において採択

背景・目的

- **循環経済・資源効率性の重要性**：循環経済・資源効率性の取組は、資源リスク、気候変動、生物多様性の損失、汚染といった世界的な問題とバリューチェーンの持続可能性に対処するために重要なソリューション
- **企業・民間セクターの役割**：循環経済・資源効率性の取組により、企業が製品や資源を経済の活動の中に可能な限り維持する持続可能なビジネスの重要性が国際社会で認識されている。
- **CEREPの目的**：企業が循環経済に関するイニシアチブを立ち上げ、行動を強化することを奨励し、政府及び金融セクターとのエンゲージメントや循環経済及び資源効率に関する**自主的な行動を促進**すること

概要

- 循環経済移行及び資源効率性向上に向けた企業向けの行動指針。具体的には、企業の経営ビジョンや中長期戦略等に循環経済を統合し、気候変動・生物多様性・汚染対策等の戦略と統合した取組を促進し、循環経済への移行に関するリスクと機会を特定し、循環・資源効率ビジネスへの移行を促進し、情報開示等のガバナンスを強化し、官民を含めセクターを超えた連携・対話等を促進する。

循環経済及び資源効率性原則（CEREP）の仮訳

原則 1 全社的な循環経済・資源効率性戦略のためのリーダーシップ

- 循環経済・資源効率性に対するリーダーシップのコミットメントを支持し、トップレベルの方針とガバナンスを指揮し、全社的な意識啓発を行う
- 循環経済・資源効率性アプローチを全社的な理念、ビジョン、又は中長期的な事業戦略に統合する

原則 2 気候変動・生物多様性・汚染削減に関する戦略及び行動と循環経済及び資源効率性アプローチの統合

- 人間の福利を資源消費から切り離し、気候や自然等環境の便益を最大化するため、循環経済及び資源効率性を脱炭素化やネイチャーポジティブアプローチと統合する
- バリューチェーン全体の循環性と資源効率性を高め、炭素・自然・物質に関するフットプリント及び化学物質等の汚染を削減する

原則 3 リスクと機会の特定

- バリューチェーン全体及び企業レベルにおいて、政策・法的影響、技術、競争力、付加価値、企業評価等、循環・資源効率ビジネスへの移行に関するリスクと機会を特定する

原則 4 循環・資源効率ビジネスへの移行

- 全ライフサイクルアプローチを念頭に、バリューチェーン全体において、既存および新規のビジネスモデルに循環経済・資源効率性アプローチを統合し、一次資源の消費削減及び環境負荷削減を行う
- 環境への悪影響を減らし、資源効率性を、特に、軽量化、耐久性、再利用性、修理性、リサイクル性その他価値保持プロセス、廃棄物の最小化と有効利用、再生可能物質の使用、物質代替、再生材料の投入物としての活用などの強化を通じて高めることを目的とし、ライフサイクルの観点から製品の設計とプロセスを改善する
- 再利用、製品寿命の延長、リサイクル、製品やモビリティのサービス化などのサービス経済モデル、シェアリング経済モデルなど、持続可能かつ循環ビジネスモデルを構築する

原則5 モニタリング及びレポーティングの強化

- 価値創造、ビジネスモデル、リスクと機会、効果、戦略、指標と目標、ガバナンス等の分野において、金融セクターや市民との透明性のある対話を促進するため、循環経済及び資源効率性をサステナビリティレポート等の全社的な情報開示に組み込む
- バリューチェーン全体における循環性と資源効率性の進捗を、特定された関連指標に基づきモニタリングし把握する

原則6 マルチステークホルダー・パートナーシップ及びエンゲージメント

- 資源の最大限の活用と循環性の向上を図るため、バリューチェーン全体を通じ、動静脈連携等のセクター横断的な連携やエンゲージメントを強化する
- 循環・資源効率ビジネスを促進し、また、政策要件とビジネスニーズの相互関係を下にビジネス促進を可能とするような環境整備を図るため、官民パートナーシップを強化する
- ステークホルダーの意識向上に資する循環経済・資源効率性に関する指標や情報を有する製品やサービスの提供を通じ、循環経済・資源効率性ソリューションを向上させるため、顧客・消費者や市民等と対話を行う

(参考) 大臣コミュニケの循環経済分野の抜粋



■ 重要鉱物及び原材料（ジョイント・パラ8）

Critical minerals and raw materials:

(略) To minimize environmental and social footprints, alleviate pressure on primary supply, and strengthen the supply and the circularity along supply chains, we are fully committed to maintain products containing critical minerals and raw materials in the economy as long as possible. We also commit to increasing domestic and international critical minerals and materials recovery and recycling from electronics, mine tailings, and other recoverable and recyclable materials where national recovery and recycling capacity complies with strong environmental standards and achieves economically efficient and safe recovery and recycling with a view to protecting human health and the environment. We will employ a nature positive approach, that prevents biodiversity loss and supports nature conservation with the aim at delivering net-positive benefits to the natural environment. In pursuing such objectives, we will facilitate discussions to ensure smooth, environmentally sound and efficient international recovery and recycling while promoting an enabling environment including through strengthening environmental regulatory frameworks in a transparent manner and capacity building especially in developing countries to minimize associated environmental footprints. (略)

(仮訳) 重要鉱物及び原材料：

(略) 環境と社会へのフットプリントを最小化し、一次資源利用への圧力を緩和し、サプライチェーンにおける供給と循環性を強化するために、我々は、重要鉱物及びや原材料を含む製品をできるだけ長く経済内に維持することに全面的にコミットする。また、我々は、人の健康及び環境を守る観点から、国の回収・リサイクル能力が、厳しい環境基準に適合し、経済的に効率的で安全な回収・リサイクルが達成されるような場合において、電子機器、尾鉱、その他の回収・リサイクル可能な材料からの重要鉱物及び原材料の国内及び国際的な回収・リサイクルの増加にコミットする。我々は、生物多様性の損失を防ぎ、自然保護を促進し、自然環境にプラスの利益をもたらすことを目的とした、ネイチャー・ポジティブ・アプローチを採用する。このような目的を達成するため、我々は、回収・リサイクルに関する環境フットプリントを最小化するために特に開発途上国における透明性を持った形での環境規制の枠組みや能力開発の強化を含む環境整備を促進しつつ、円滑で環境的に優れ効率的な国際的な回収・リサイクルを確保するための議論を促進する。(略)

(参考) 大臣コミュニケの循環経済分野の抜粋

■ 循環性及び資源効率性の強化を通じた三つの地球規模の危機への対処（環境・パラ31）

(コミュニケ) **Addressing the triple crisis through enhanced circularity and resource efficiency:** Highlighting the importance of decoupling economic growth from environmental degradation and primary resource use, we emphasize that enhancing resource efficiency and circularity along value chains, guided by scientific data and findings, reduces primary resource use and supports our efforts to address the triple crisis. We will strive for our economies to become more circular and resource efficient through enhancing a wide range of policy measures and cooperation with the private sector for increasing circularity along value chains through various approaches, which can include, inter alia, enhancing the design of products taking into account full life-cycle approaches, lifecycle assessments and extended producer responsibility schemes as appropriate. We will work together to make use of the potential of resource efficiency and circular economy for meeting our ambitious climate and environment goals.

(仮訳) 循環性及び資源効率性の強化を通じた三つの地球規模の危機への対処：

経済成長と環境劣化や一次資源の利用とのデカップリングの重要性を強調し、科学的データと知見に導かれたバリューチェーン全体における資源効率性及び循環性の向上が、一次資源の利用を減じ、三つの地球規模の危機に取り組む我々の努力を支援することを強調する。我々は、ライフサイクル・アプローチを踏まえた製品設計の強化、ライフサイクル評価、適切な場合には拡大生産者責任のスキーム等を含み得る様々なアプローチを通じ、バリューチェーンにおける循環性を高めるための幅広い政策措置と民間セクターとの協力を強化することによって我々の経済がより循環性及び資源効率性の高いものとなるよう努力する。我々は、野心的な気候や環境目標の実現のために資源効率性や循環経済の可能性を活用するべく協力する。

(参考) 大臣コミュニケの循環経済分野の抜粋

■ G7資源効率性アライアンスの下の協力（環境・パラ32）

（コミュニケ） Collaboration under the G7 Alliance on Resource Efficiency:

We commend the G7 Alliance on Resource Efficiency for its work including holding relevant meetings and workshops. We request the Alliance to build on the Berlin Roadmap and strengthen collaboration and action among G7 members on specific activities listed in the Roadmap including on climate, biodiversity, and pollution benefits through increased resource efficiency and circularity in the identified high-impact value chains. While reaffirming our commitment to reducing primary resource use and minimizing waste, we will increase our efforts towards net-zero emissions by 2050 from the waste sector, including food loss and waste, and look forward to relevant workshops by the Alliance.

（仮訳） G7資源効率性アライアンスの下の協力

我々は、G7資源効率性アライアンスによる関連会合及びワークショップの開催を含む活動を評価する。我々は、アライアンスが、ベルリン・ロードマップを基礎とし、特定された影響が大きいバリューチェーンにおける資源効率性と循環性の向上を通じた気候・生物多様性・汚染にかかる便益など、ロードマップに挙げられた特定の活動において、G7メンバー間の協力と行動を強化するよう要請する。我々は、一次資源の使用量削減と廃棄物の最小化へのコミットメントを再確認し、食品ロスや廃棄物を含む廃棄物部門から2050年までのネット・ゼロに向けた努力を強化し、アライアンスによる関連ワークショップに期待する。

(参考) 大臣コミュニケの循環経済分野の抜粋

■ 循環経済及び資源効率性の原則 (環境・パラ33)

(コミュニケ) **Circular Economy and Resource Efficiency Principles:**

Businesses can play a significant role through their value chains to advance resource efficiency and circular economy approaches. Recognizing their critical role, we adopt the Circular Economy and Resource Efficiency Principles (CEREP) as annexed, to encourage companies to establish initiatives and strengthen actions on circular economy, to promote engagement with the public and the financial sector, and to promote their voluntary circular economy and resource efficiency actions aiming to enhance resilience and competitiveness, and support sustainable and inclusive economic growth and job creation.

(仮訳) **循環経済・資源効率性の原則**

企業は、そのバリューチェーンを通じて、資源効率性及び循環経済アプローチの推進に重要な役割を果たすことができる。その重要な役割を認識し、我々は、企業が循環経済に関するイニシアティブの確立と行動の強化を招請し、政府および金融セクターとの協力を促進し、レジリエンスと競争力を強化し、循環経済及び資源効率性の自主行動を促進し、持続可能で包摂的な経済成長と雇用創出を支援するため、添付された循環経済及び資源効率性の原則 (CEREP) を採択する。我々は、本原則の活用と官民連携の促進のため、B7や他の民間ステークホルダーの関与及び協力を期待する。

(参考) 大臣コミニケの循環経済分野の抜粋



■ バリューチェーン全体の循環性に関する透明性の向上 (環境・パラ34)

(コミニケ) Promoting transparency on circularity along entire value chains:

Promoting transparency on circularity along entire value chains: Increasing our efforts to enhance resource efficiency and circularity to minimize negative environmental impacts, which contributes to enhancing the resilience and autonomy of our economies, and recognizing the urgent need to reduce primary resource use, we stress the importance of measuring circularity and environmental impacts, and sharing and utilizing data along entire value chains to enable further collaboration between manufactures and recyclers, among other actors, for enhancing the 3Rs (reduce, reuse, and recycle) and other value retention processes. Recognizing that better coordination among G7 members would increase the effectiveness of such a system, we will collaborate through the G7 Alliance on Resource Efficiency to facilitate discussions and coordination on measuring circularity and sharing and utilizing the information on circularity along entire value chains as well as on comparable metrics.

(仮訳) バリューチェーン全体の循環性に関する透明性の向上

我々は、経済のレジリエンスと自律性に資する、資源効率及び循環性を高め環境への悪影響を最小限に抑える努力を続け、一次資源の利用削減が急務である旨を認識し、製造業者とリサイクル業者を始めとする主体間の連携を進め、3R (リデュース、リユース、リサイクル) 及びその他経済価値を維持するプロセスの強化に向け、循環性及び環境影響を測定し、バリューチェーン全体でデータを共有・活用する重要性を強調する。 G7メンバー間のより良い連携がこのようなシステムの有効性を高めることを認識し、我々は、G7資源効率性アライアンスを通じた協力により、循環性の計測、バリューチェーン全体における循環性に関する情報の共有と活用、及び比較可能な指標に関する議論と調整を促進する。

(参考) 大臣コミュニケの循環経済分野の抜粋

■ 国際協力（環境・パラ35）

（コミュニケ） **International cooperation:**

We will enhance international cooperation in bilateral and multilateral fora including the G20 Resource Efficiency Dialogue, facilitating collaboration to increase resource efficiency and circularity in our economies and beyond the G7 in order to address climate change, biodiversity loss and pollution. We recognize the need to support low and middle-income countries to increase resource efficiency and circularity in their economies while also addressing the urgent need of environmentally-sound materials, chemicals and waste management through financial and technical cooperation as well as through private investments. Recognizing the key role played by MDBs and other financial institutions in mobilizing finance for enhancing resource efficiency and circularity as tools to meet our environmental goals as well as mainstreaming this agenda, we call upon them to integrate resource efficiency and circular economy approaches with their portfolios to ensure coherent action and enhance synergies.

（仮訳） **国際協力**

我々は、G20資源効率性対話を含む二国間・多国間における国際協力を拡大し、気候変動、生物多様性の損失及び汚染に対応するため、G7内外の経済における資源効率性及び循環性向上のために連携を促進する。我々は、中低所得国が彼らの経済の資源効率性と循環性を向上させるとともに、環境上適正な材料・化学物質・廃棄物管理の喫緊のニーズに対応するため、ファイナンス・技術協力や民間投資を通じた支援の必要性を認識する。我々は、環境目標を達成するための手段として資源効率性と循環経済を強化するための資金を動員し、このアジェンダを主流化する上での、MDBs及びその他金融機関が果たす重要な役割を認識し、一貫した行動を確保し相乗効果を高めるため、資源効率性及び循環経済のアプローチをそのポートフォリオに統合することを求める。

(参考) 首脳コミュニケの循環経済分野の抜粋



■ 環境・パラ22

(コミュニケ) We commit to realizing the transformation of the economic and social system towards net-zero, circular, climate-resilient, pollution-free and nature-positive economies and to halting and reversing biodiversity loss by 2030, in an integrated manner, while ensuring sustainable and inclusive economic growth and development and enhancing the resilience of our economies. Highlighting that enhancing resource efficiency and circularity along value chains reduces primary resource use and contributes to achieving our climate and other environmental goals, we encourage stakeholders and in particular businesses to strengthen their action. Thus, we endorse the Circular Economy and Resource Efficiency Principles (CEREP). We will increase domestic and international environmentally-sound, sustainable and efficient recovery and recycling of critical minerals and raw materials and other applicable materials while increasing circularity along the supply chains.

(仮訳)

我々は、持続可能で包摂的な経済成長及び発展を確保し、経済の強靱性を高めつつ、経済・社会システムをネット・ゼロで、循環型で、気候変動に強靱で、汚染のない、ネイチャーポジティブな経済へ転換すること、及び2030年までに生物多様性の損失を止めて反転させることを統合的に実現することにコミットする。我々は、バリューチェーンにおける資源効率性及び循環性の向上が一次資源の使用量を削減し、気候変動やその他の環境目標の達成に貢献することを強調し、ステークホルダー、特に企業に対し、そうした行動を強化することを奨励する。したがって、我々は、循環経済・資源効率性原則（CEREP）を支持する。我々は、サプライチェーンにおける循環性を高めつつ、国内及び国際的な重要鉱物や原材料、その他の適用可能な原料の環境上適正で、持続可能かつ効率的な回収・リサイクルを増やす。